プチ指導案 チーム四小

青梅第四小学校
授業改善
6年

6月 2日（月） 1校時

国語「イースター島にはなぜ森林がないのか」

本時のねらい　教材文を読み、筆者の主張を捉え、要旨を確かめることができる。

本時のこだわり

筆者の主張に迫りつつ、要旨をまとめていく。

展開

学習活動	指導・支援（〇）　評価（☆）
1 前時の復習	・イースター島の歴史から、私たちが教えられることを児童の言葉で確認する。
めあて　要旨にまとめよう	
2 こんな過去を知ってどう思った	〇自分の考えをもたせる ・むやみに森林を伐採すると危険だ ・未来のことを考えないといけない
3　筆者は何が言いたいんだろうね？	〇叙述から、自分の考えと比較させるために、筆者の考えが分かる文に線を引かせる ・「子孫に深く思いをめぐらす文化を早急に築く」のは大切！
4　なぜ筆者は「子孫に深く思いをめぐらす文化を早急に築く」のが大切だと思ったんだろう？	〇尾括型であることをおさえる。 〇キーワードカードから原因を見つけ、その結果どうなったかを考えさせる。 〇㉕に事例がまとめられていることに気が付かせる。
5 要旨にまとめる	〇筆者の主張から、要旨をまとめる 筆者の主張 「今後の人類の存続は、むしろ、子孫に深く思いをめぐらす文化を早急に築けるかどうかにかかっている。」 要旨 「イースター島では、人々が森林を使い果たしたため、文化が衰退してしまった。このことから、今後人類が同じ道をたどらないように、数世代後の子孫の幸せを願う文化を、今の人類が築くことが大切である。」
6　振り返る	〇自分たちにも言えることは何か、イースター島はどうしたらよかったのかを振り返させる。